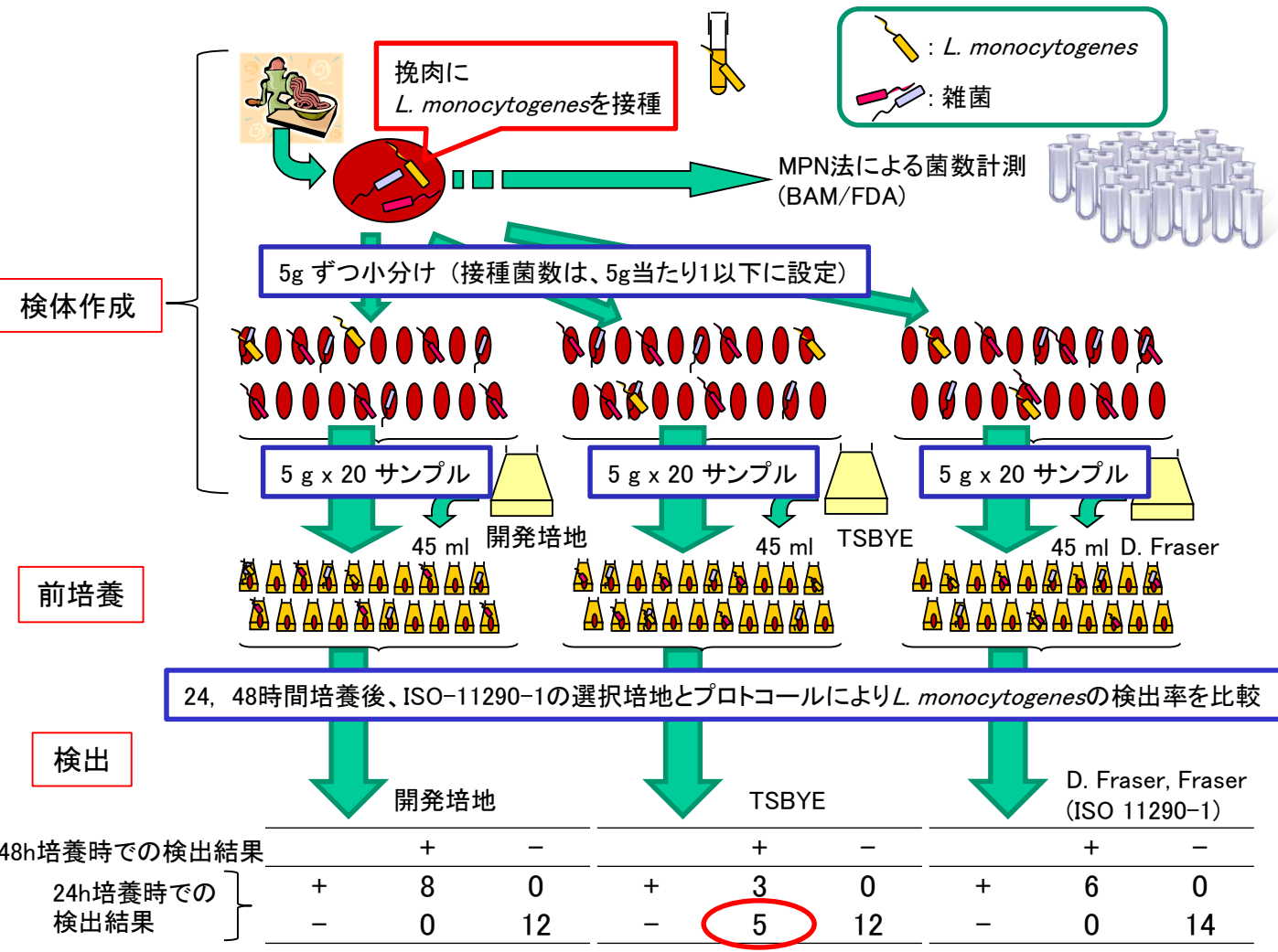


リステリア検出のための前培養培地の評価

研究の内容

これまで当研究室では、サルモネラ・リステリアモノサイトゲネス・病原性大腸菌O157のPCRによる多重同時検出について研究してまいりました。その開発過程において、食品からの検出に適する前培養培地について研究開発およびキット化を行ってきました。開発された前培養培地について、サルモネラを用いて評価試験を行った結果、加熱および凍結損傷したサルモネラからの検出率が、その他の培地と比較して高いという結果を得ました(J. AOAC Int. 94:857-)。本研究では挽肉中におけるリステリアモノサイトゲネスの検出率を比較することで、開発培地の増菌効果を検証しました。



培地毎での検出率を求めた結果、開発培地およびISOの選択増菌培地では、24および48時間培養においても陽性率は変化しないことがわかります。一方、TSBYEでは48時間培養を行わないと十分に検出ができませんでした。培地間での有意性を求めるには試験区を増やす必要がありますが、現時点では既存の培地と少なくとも同等であることがわかりました。